

第1回算数科イノベ人材育成推進教員による授業研究会

9月18日(金)、算数科イノベーション人材育成推進教員である松沢小学校の福田雄介先生の授業研究会を行いました。

小教研算数部会の先生方や県外の先生にも参加していただき、充実した学び合いとなりました。

授業テーマ 算数科における児童が主体的に学び合う授業づくり



<教師の思い>

複式授業において、児童が主体的に話し合い、思考を深めることができるようにしたい！



<教師の思い>

数学のよさに気付き、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする児童を育てたい！

<手立て>

効果的な「わたり」「ずらし」を行うことで、考えを共有する場面では、教師がコーディネートしつつ、主体的な話し合いができるようにする。

<手立て>

発展的な内容や日常生活につながる内容を取り扱うことで、既習を活用することが様々な課題(問題)を解決することにつながることを実感させる。

講演

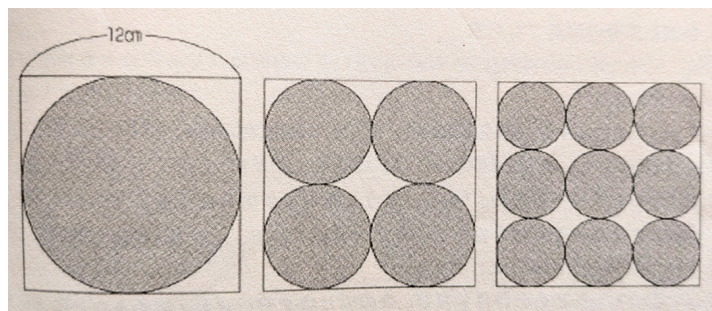
学び合いを充実させるために～「考えることが楽しい」という子どもを育てたい～

授業研究会後には、東北福祉大学教育学部の菅原敏彦教授にご講演をいただきました。次のような演習も行ってください、参加者全員で学びを深めました。

次の問題で授業をつくってみましょう

(問題) 右の図で面積が最も大きいのはどれでしょう。

- ① 授業の一番最初にどんなことを行いますか？
- ② 自力解決の段階で、どのような学びを予想し、何をしますか？
- ③ ペア学習やグループ学習は行いますか？
- ④ 学習後に、どのようなことを子供に期待しますか？



参加者の感想

答えを導き出すプロセスを一人一人が多様なアプローチで考えており、試行錯誤を恐れずに挑戦する雰囲気がクラス全体に広がっていると感じました。友達の意見を聞いて納得する表情が輝いていました。

児童に任せる部分が多く、主体的に学習を進める姿を見ることができました。学習リーダーの活用が参考になりました。

子供たちが解決したいと思える課題の設定や学習リーダーを中心とした学びが、子供たちの主体的な学びにつながっていました。

11月20日(金)
第2回算数科授業研究会
申込受付中です！
中学校の先生もぜひ！

